

□ 要請番号 (JL52416B49)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マラウイ	H132 公衆衛生		グループ型	交替3代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ムジンバ県南部病院エディンゲニヘルスセンター

3) 任地 (ムジンバ県エディンゲニ) JICA事務所の所在地 (リロングウェ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 10.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

エディンゲニヘルスセンターはムジンバ市街地から50km程離れた村落部にあり、地域住民約1万8千人に対して外来診療、産科、エイズの検査・治療といった医療サービスを提供すると共に、乳幼児の発育測定と予防接種、住民への健康教育といった地域保健活動も行っている。県南部病院が管轄する31のヘルスセンターのひとつであり、重症患者は県南部病院に移送される。県南部病院全体としての年間予算は約200万ドル。同県内では、現在、公衆衛生グループ型派遣として4名のJVが活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では医療保健人材が慢性的に不足しており、地域住民を対象とした末端での保健サービスはHSA(Health Surveillance Assistant)と呼ばれるヘルスワーカーが担当している。HSAは各村落地域に居住もしくは巡回して乳幼児の発育測定・予防接種や住民への予防啓発活動を実施することとなっているが、知識・経験の不足、管理体制の不備や情報伝達の不十分さから、期待通りの業務が行われていないのが現状である。そのためJICAでは、2011年より県南部病院および管轄下の保健施設にグループ型派遣としてJVを派遣し、HSAの能力強化と、それを通じた地域保健の向上に取り組んでいる。また、JVのグループ活動として乳幼児健康手帳(ヘルスパスポート)の改訂が進められている。活動の定着のため、後任が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

保健担当者と共に担当地域を巡回し、以下の業務について協働しながら助言や改善を行う。

1. 地域住民、特に乳幼児及び妊産婦への病気予防、健康、栄養、保健衛生の指導
2. 改訂版乳幼児健康手帳(ヘルスパスポート)の普及促進
3. 県病院との適切な情報交換体制の確立
4. ヘルスセンターにおける5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)活動を通しての保健医療サービスの質の向上

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

保健省が供給する健康教材等

4) 配属先同僚及び活動対象者

【同僚】

シニア医療助手 男性1名(20代)、助産師 男性1名(40代)
カウンターパート:シニアヘルスワーカー (SHSA) 男性1名(短大卒レベル、40代)
ヘルスワーカー (HSA) 男性4名、女性1名(高卒レベル、30-40代)

【活動対象者】地域住民

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：安全上の理由から

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（10～30℃位） [電気]：（なし）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（なし）

【特記事項】